

終末糖化産物(AGEs)は体内で何をしているのか

◆ 就実大学薬学部 渡邊 政博

近年、体内の AGEs 量を測定できる装置が開発され、薬局等の店頭で使用できるようになってきました。AGEs は食品の褐変現象の原因として見出された分子ですが、その後体内でも生成していることが明らかになり、注目されるようになりました。AGEs は、糖類やその分解産物とタンパク質などの分子が結びつくことによって生成します。このとき、AGEs ができることによってタンパク質自身の機能が損なわれる事例が見出されています。このような現象は、老化や生活習慣病の原因となっている可能性が指摘されています。さらに、体内には AGEs の存在を察知して、炎症を引き起こすシステムが備わっていることが明らかになっています。生活習慣が原因となって体内で生成し蓄積した AGEs は、このシステムを介して継続的に炎症を引き起こす可能性が考えられます。継続的な炎症は、体にダメージを与えると考えられており、老化や生活習慣病と強く関係していることを示す報告があります。さらに、最近になって我々は、既に生成された AGEs が特定のタンパク質に付着することによって、そのタンパク質の機能を変化させることを見出しました。これまでに、炎症に関わるタンパク質の機能を変化させることで、炎症を悪化させる可能性があることを報告しています。この発見は、AGEs が体内で何をしているのかを理解するための手がかりとなるとともに、AGEs が原因となる病気の治療法開発にもつながると考えています。

梅雨でジメジメするときの湿気対策



梅雨が近づくと、湿度が高くなりカビが多くなります。カビは湿度 28℃前後、湿度 70%前後、栄養、酸素のなどの条件が揃うと増え始めます。カビは食べ物の残り物、人間のアカやフケなどを栄養源にして増殖します。カビが増えることによって皮膚炎・ぜんそくなどの症状の原因になるかもしれません。

～すぐにできる湿気対策～

- ・自宅の窓を二か所以上開けて、風の通り道をつくることで、家全体の風通しを良くする
- ・通気性の悪いところでは、壁や床と家具の隙間を空けるようにし、通気性の悪いところを減らす
- ・浴槽では熱いお湯で石鹸のカスなどを洗い流し、しっかりと換気を行う
- ・室内干しをするときは、エアコンや除湿器を併用し、できるだけ天気の良い日に外に干す

カビやウイルス、におい対策に次亜塩素酸の消毒が有効です。 薬局で取り扱っている商品 セイバーZ プラス 空間や対象物に吹きかけるだけ。お子様や妊婦の方などにも安心してお使いいただけます。

～薬局からのお知らせ～

★2020年7月1日より、手提げ付レジ袋をご希望の方は 1枚につき5円 いただくようになります。

マイバックの持参にご協力をお願いいたします。

★処方せんの有効期限は発行日より4日以内です。

★営業時間:平日8時半～18時。当薬局は全国の医療機関の処方せんを受付いたします。

就実大学薬学部附属薬局 岡山県岡山市北区田益 1291-1 TEL:086-294-9100

薬局ホームページ [しゅうじつ薬局だよりバックナンバー掲載](#)

就実大学・就実短期大学 岡山県岡山市中区西川原 1-6-1 TEL:086-271-8111(代表)

